

市町村名 伊平屋村

令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-4), 公園修景等整備事業, 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(2)-ウ), 沖繩振興基本方針該当箇所 (III-1-(1)).

事業内容: 国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した公衆トイレ、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。

効果発現年度: 当年度 (), 後年度(令和4年度) (x)

実施方法: 直接実施 (), 委託 (x), 補助 (), 負担 (), その他 ()

Table with 7 columns: 予算額・執行額 (単位:千円), H29年度, H30年度, R1年度, R1年度(繰越), R2年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A).

Table for activity goals and achievement status. Columns: R元活動目標(指標), H29年度, H30年度, R1年度, R2年度. Includes '念頭平松公園排水路整備工事(2工区)' with target and actual performance.

Table for outcome goals and progress status. Columns: R2成果目標(指標), 基準値(年度), R1年度, R2年度, R3年度, 目標値(4年度). Includes '念頭平松公園排水路整備工事(2工区)' and '【R4成果目標】'.

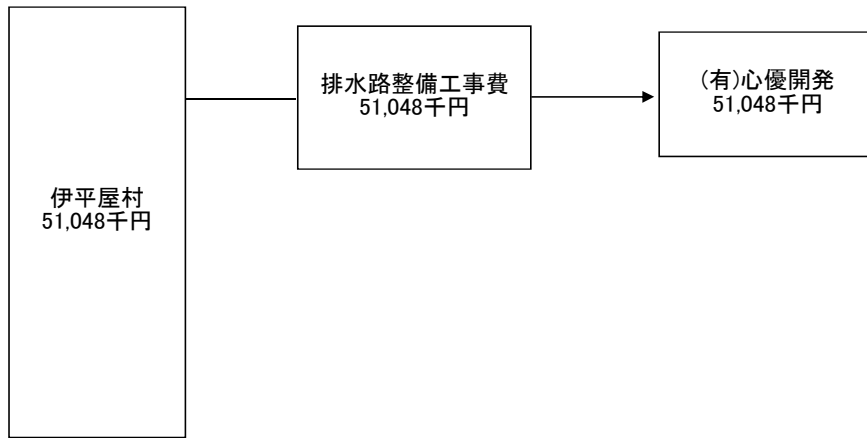
進捗状況説明: 念頭平松排水路整備工事を予定通り実施することができた。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	工事期間内の梅雨時期及び台風に伴う雨水等で常時山手からの水が流れ込み工事の進捗状況や流末の海域への赤土流出が懸念されるため、漁業組合との話し合いの場をもち工程の調整を行う事が必要である。	・進捗状況及び工程毎の進捗を工程会議にて共有・検討する事で適切な工程管理が図られる。

今後の取り組み方針
引き続き念頭平松周辺の環境等を踏まえた工事の進め方や住民の理解を得ながら整備を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
51,048	51,048	40,838	10,210	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては沖縄県土木建築部土木工事標準積算基準書に基づき積算したことから適正だったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊平屋村

令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 2-② 新伊平屋村製糖工場建設事業
担当部課名: 農林水産課
事業実施(予定)年度: 平成29年~R2年度
沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-(12)-イ 農林水産業の振興
沖繩振興基本方針該当箇所

事業内容: 伊平屋村の製糖工場は、沖縄含蜜工場(8工場)の中でも最も古い施設で移設して52年が経過している為、建物の腐食や老朽化が著しく本質低下の恐れがある。平成29年度より沖縄含蜜糖施設近代化事業で建物・設備設計を実施し、それに併用して、沖縄県振興特別推進交付金(特別枠)を活用して施設を行い工場の機能の向上る伊平屋村さとうきび振興の強化を図る。

効果発現年度: 当年度 [] 後年度() ()

実施方法: [] 直接実施 [] 委託 [] 補助 [] 負担 [] その他()

Table with columns: 予算額・執行額 (単位:千円), H29年度, H29年度(繰越), H30年度, H30年度(繰越), R1年度, R1年度(繰越), R2年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)繰越額, A.計, B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A).

予算の状況の説明: 関連事業の施設建築工事の施行遅延により、年度内の完了が困難となった為、繰越となった。

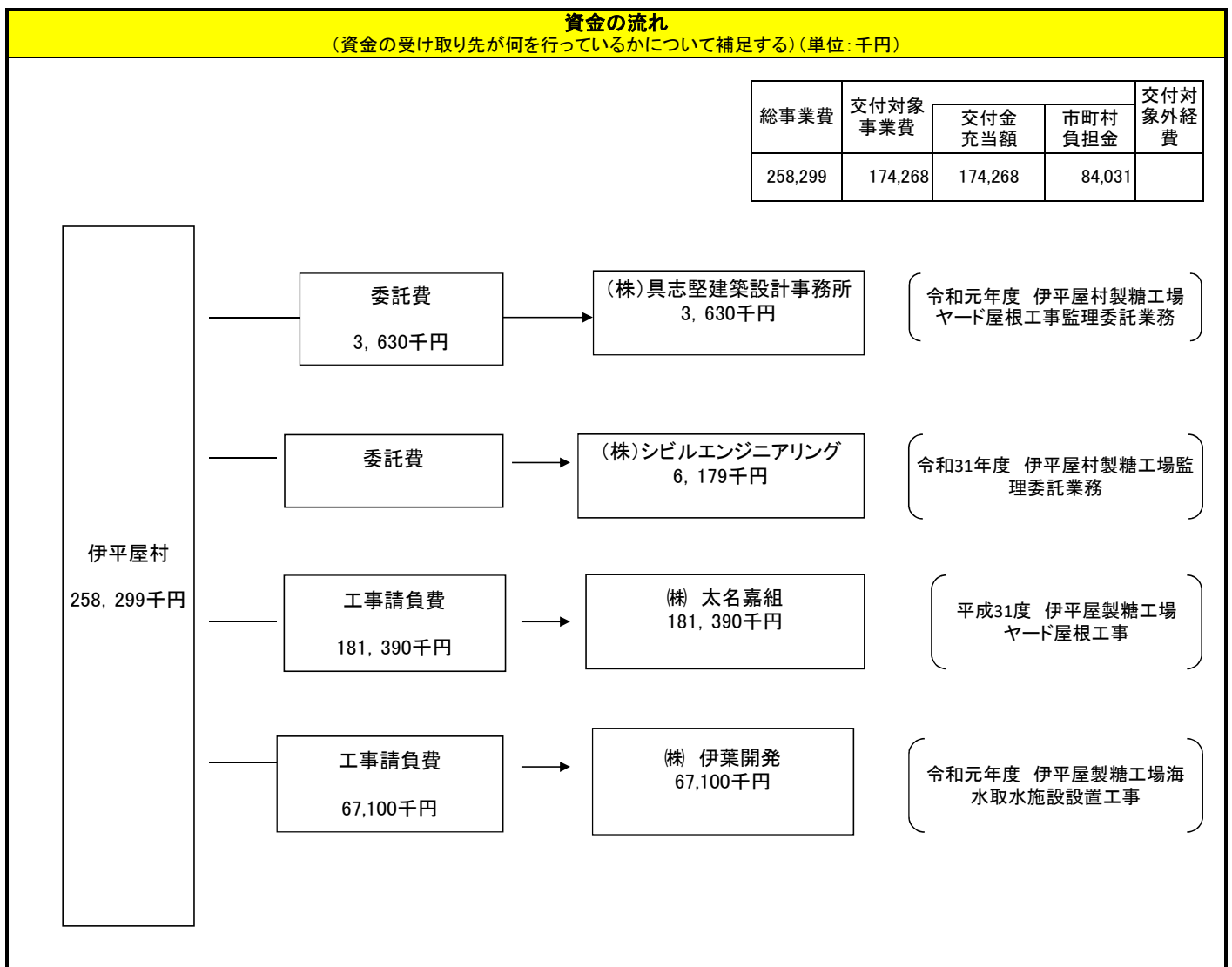
Table for activity goals and achievement status. Columns: R1活動目標(指標), H29年度, H30年度, R1年度, R2年度. Rows: 工事実施, 工事現場技術の委託.

達成状況説明: 工事8月・11月に工事発注したが、モズクの収穫等に重なり工事を見合わせ又、関連事業の機械設置と保管等に調整がつかず、年度内の完了が困難となった。なお工事完了は、令和2年10月30日となった。

Table for achievement goals and progress status. Columns: R1成果目標(指標), 基準値(29年度), H29年度, H30年度, R1年度, R2年度, 目標値(年度). Rows: 建築ヤード工事・外構工事・現場技術業務・建築監理委託業務の完了.

進捗状況説明: 工事8月・11月に工事発注したが、モズクの収穫等に重なり工事を見合わせ又、関連事業の機械設置と保管等に調整がつかず、年度内の完了が困難となった。なお工事完了は、令和2年10月となった。
ヤード屋根工事 令和2年6月完了
海水取水整地工事 令和2年10月完了
ヤード屋根工事施工監理工事 令和2年6月完了
現場技術業務委託 令和2年8月完了

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ヤード屋根工事) ・本体建築工事・機械器具設置による工期変更に合わせて後期変更(建築監理委託業務) ・ヤード屋根工事工期変更伴う工期延長 (外構工事) ・モズク収穫等により工期変更 (現場技術業務委託) ・外構工事の工期変更に伴い工期延長	(ヤード屋根工事) ・事業実施に伴い各業者の問題点について、工程会議等を開催し、適切な管理を行う。 (建築監理委託業務) ・各業者の問題点について話し合い適切な管理を行う。 (外構工事) ・モズク養殖漁家と調整し工事施工を行う。 (現場技術業務委託) ・モズク養殖漁家を調整し工事管理を行う。
	今後の取り組み方針	
事業実施するに当たり、全体工程会議等の実施により、適切な工程管理を行い役場・JA・施行業者が進捗状況を共有することで事業の推進を図る。		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、指名競争入札により決定しているため、妥当である。 ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費用・用途については事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村
------	------

令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-④	生ゴミ等循環型資源活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度 平成28年度～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容
生ゴミを堆肥化することにより、環境改善を図るため、生ゴミ処理機等を整備する。

効果発現年度
 当年度 後年度(令和3年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	R1年度	R1年度(繰越)	年度
		(a) 当初予算額	2,500	10,133	36,114	—
(b) 予算現額	2,500	9,729	41,348	—		
(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 404	5,234	—		
(d) 繰越額	—	—	—	—	35,903	
A. 計 (b+d)	2,500	9,729	41,348	—	35,903	
B. 執行済額	1,234	9,422	5,445	—	35,903	
うち交付金充当額	987	7,537	4,356	—	33,078	
次年度繰越額	0	0	35,903	—	0	
執行率 (%) (B/A)	49.4%	96.8%	13.2%	—	100.0%	
予算の状況の説明	令和元年度に建設工事を指名競争入札により発注したが、指名した業者が全社辞退となったため、令和2年度へ繰越し実施した。					

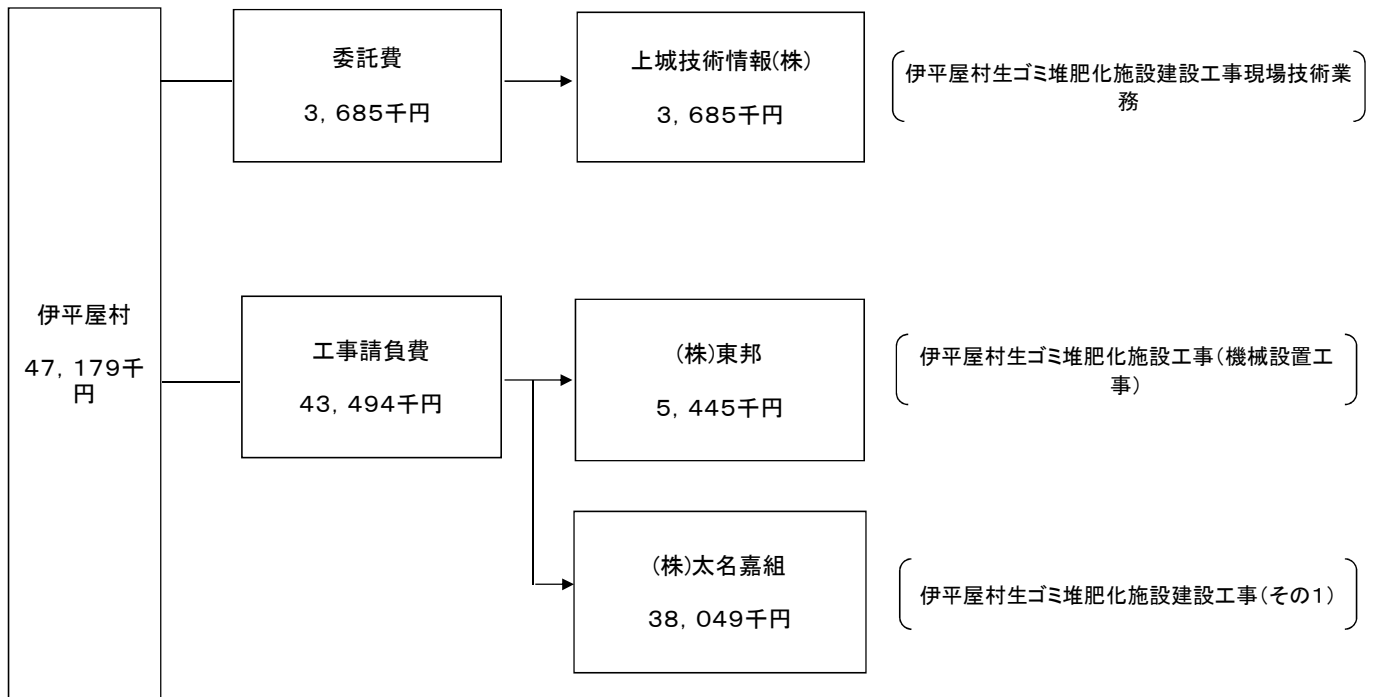
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	R1年度	R2年度
	生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図る。	目標 (協議会発足)	(検討委員会3回、ワークショップ5ヶ所開催)	(生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図る)	()
	実績	協議会発足	検討委員会5回ワークショップ5ヶ所開催	生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図った	
達成状況説明	平成28年度に生ゴミ堆肥化を推進するため、協議会を発足し、啓蒙活動を行った。平成29年度には各集落でのワークショップの開催、生ゴミにおけるフィールド実証試験等を行い、令和2年度(令和元年(繰))に生ゴミ堆肥化施設を完成した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	R1年度	目標値(R3年度)	
	堆肥化された生ゴミの量: 3.9t	目標	(3.9t)	(協議会発足)	(検討委員会3回開催 ワークショップ5ヶ所開催)	(3.9t)	(3.9t)
		実績		協議会発足完了	検討委員会3回開催 ワークショップ5ヶ所開催	0t	
進捗状況説明	令和3年3月11日に完成し、3月29日より供用が開始されている。供用開始から31日まで40.1kgの生ゴミを収集したが堆肥化までは行うことができなかった。今後施設を活用し、生ゴミの堆肥化に取り組んでいく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の完成により生ゴミを堆肥化することが可能となった。今後この施設の活用に向け、生ゴミ収集の強化に力を入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生ゴミ収集を行っているが、分別されていないものも見られることから、分別の徹底、また、収集量の増を図るため普及啓蒙に力を入れる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 生ゴミ堆肥化を推進するため、チラシ等を作成し配布する。 生ゴミ堆肥化の普及啓蒙を行うため各集落等でのワークショップを開催する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
47,179	41,348	33,078	8,270	5,831



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事事業者は指名競争入札等で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては市場価格等を考慮したもので適正だったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	